

来月移転の譜久山病院

「お薦め」の本を持ち寄り共有

院内に本棚
交流の拠点に



11月、現在の明石市西明石北町3から硯町2に移転する譜久山病院(譜久山剛院長)で16日、新病院内に完成した本棚のお披露目会が開かれた。本を介した地域の拠点となることを目指しつくられたもので、その考えの提唱者が来院。訪れた内覧者約40人と、本を紹介し合ったり、ライブラリーへの関わり方を話し合ったりした。

(片岡達美)



本棚は、市民が本を持ち寄った本棚を町中に点在させ、新しい交流の場をつくる「まちライブラリー」の取り組みを参考に、その費用をインターネットを通じて小口投資「クラウド・ファンディング」で募って完成させた。

この日は一般社団法人「まちライブラリー」(大阪府中央区)代表理事の磯井純充さん(58)が、これまで設立に携わったライブラリーを例に、その意義について話した。

企業や病院は従来、利用



完成した本棚。市民が寄贈した本が並ぶ予定の硯町2

者に対して一方的にサービスを提供するだけだったが、それら施設内に本棚を設置し、利用者が自分で選んだ本を置くことで「双方

向の関係になり、両者に信頼関係が生まれる」と磯井さん。「成功のカギは、成果を求めるのではなく、楽しみとして展開していくこと」ともいい、「譜久山病院にも、そうした関係を築いてほしい」と期待を述べた。

「ライブラリー」提唱者

磯井さん、活動紹介

海

引き寄せ
るセミナー、
後2時、
北王子町
ケア開発
る。
引き寄せ
る家族で
りの会」
東町1)。
こもり支
注目され
(クラブ
え方を伝
伊註冊
口の安
海上渡
にに神輿
をを回つ
約50年前
協関係者
らが大海
にに分かれ
乗せた船
場や養殖
神社の神
を海に持
て。同乗し
へも一緒に
での無事
港町の木
神事が行
地域の祭
た。